

令和5年度 第3回蕨市いじめ問題対策連絡協議会 議事録

1 日 時 令和6年2月13日(火) 10:00~11:30

2 会 場 蕨市役所 4階 大会議室

3 出席者(敬称略)

委 員：土屋 修 佐藤 慎也 赤羽 悟 倉石 尚登
福田 望 山口 浩 秋元 知子 泉山 高子
松本 隆男

事務局：小山 晃弘(教育部次長)
峠館 春介(学校教育課指導主事)
葛原 順也(学校教育課指導主事)

4 内 容

【開 会】 小山 晃弘

【委嘱状交付】

【自己紹介】

【協議会に関する説明】

【会長挨拶】

5 【協議】

(1) 蕨市立小・中学校の状況

事務局からの説明

令和5年度「第2回生徒指導に関する調査」における蕨市の状況
いじめの主な態様、いじめに関わる暴力行為、いじめの解消について

《質疑応答》

[委員]

「パソコン・スマホのいじめが明るみになるケースと出ないケースにはどのような違いがあるのか。また、どのようになれば、いじめが解消したと言えるのか。」

[事務局]

「教員が児童生徒から話を聞いたり、様子を観察したり、学校生活アンケート調査から明るみになることがある。また、いじめの解消については、基本的に教員が把握し

たものを、丁寧に聞き取り、指導し、あるいは家庭と連携しながら対応している。また、情報モラル等の指導も含めて、いじめだけに特化せずに、教育活動全体で指導をしている。」

[委員]

「いじめが継続されてる子供に対して、指導を行うという話だが、これは、被害者だけか。メンタルケアについても行っているのか。」

[事務局]

「加害児童生徒、保護者に対しても指導を行っている。」

[委員]

「例年に比べると、3か月を超えても解消していないいじめの件数は多いのか、少ないのか。」

[事務局]

「多くなっている。」

(2) いじめ防止に向けた取組

○蕨市としての取組

- ・ 学校生活アンケート
- ・ ライフスキルの手法を用いた蕨市いじめ未然防止プログラム
令和5年度 小中学校全学年2時間ずつ実施
令和6年度より各学年5時間程度ずつ全面实施

○学校としての取組

- ・ 「蕨市いじめのない明るい学校づくり会議」(2月 参集方式での実施)
各小中学校における児童生徒の自主的な活動の発表及び協議
主にいじめのない明るい学校づくりに向けた各校の特徴的な取組の紹介
インターネットを用いたいじめに対する取組が多い

≪質疑応答≫

[委員]

「人権対策や非暴力に対する取組も、蕨市や学校の取組の中で行っているのか。」

[事務局]

「日常的に道徳の授業や、今回の資料にはないが、人権作文・人権標語で人権について啓発している。また、いじめ防止の劇の中で、暴力について扱っている学校もある。」

(3) 各機関、団体からの報告

[委員]

「様々な活動を行い、時間を費やしていると思うが、先生方の負担について気になる。今回は子ども同士のいじめについて取り扱っているが、教師や保護者など大人からのいじめに対しても今後取り組んでいくことも必要ではないだろうか。また、高学年以上になると、メンタル面の検診も必要になってくるのではないか。」

[事務局]

「スクールカウンセラーが、来校時に相談できる。また、中学校にはさわやか相談室があり、中学校区の小学生も相談できる。教職員については、ストレスチェックを年に1回行っている。」

[委員]

「不登校が増加している中で、登校できない理由がわからない子もいる。いじめも不登校に関係しているのか。」

[事務局]

「小学校では増加傾向、中学校では前年と同じくらいの数になっている。いじめが原因で不登校になると、重大事態として対応することとなる。」

[委員]

「昼の放送でよいことを発表している活動があったが、嫌なことについては発表しないのか。」

[事務局]

「前向きな気持ちにしていくために、よいことを広めている。望ましい言葉についても広めているが、望ましくない言葉については、用いないようにしている。学級指導の中で望ましくない言葉について指導している。」

[委員]

「メディアリテラシーが問題になっている。怪しいサイト、チャットでのやりとりなどでトラブルになりそうなことがある。ライフスキル教育において、よりよい人間関係を作り上げるための取組を行っている。」

[委員]

「いじめに対して、学校外の地域でも取り組んでいく流れにある。先進地区の動向に注視していきたい。」

[委員]

「いじめと犯罪の線引きが難しい。学校でのいじめがエスカレートして保護者が納得行かないと、警察に来ることが多い。暴力行為はあるが、いつ起きたのかわからないと、犯罪として難しい。犯罪と認められれば、取り調べを行う中で、家庭環境や学校での様子について聞き取ることもある。児童相談所への通報もあるが、虐待がメインになるので、継続的にケアすることは難しい。基本的には、学校と警察で連携し、対処していく。」

[委員]

「各学校で事件が起きたから対応するのではなく、事前に防止策を考え、授業を実践していく。全教員が指導できるようにしていかなくてはならない。人事異動もあるので、継続した指導をできるようにしなくてはならない。今回報告した学校づくり会議は、子供たちが中心となり、対策を考えていくもので、インターネット、スマートフォンについてのルールを児童生徒が考え、市で統一したものを配布している。」

[委員]

「学校、教職員、地域との連携が大切。また、地域の主任児童委員や保護司との連携も必要。コミュニティ・スクールを次年度から市内全小中学校で実施するため、地域の方々のご意見を伺い、学校運営していくようになる。」

[委員]

「不登校は、埼玉県でも課題になっている。オンラインでの授業やメタバースの活用など様々な手段をとおして、学校教育を受けられるようにしていきたい。」

6 【その他】

事務局より事務連絡

- ・ 令和6年度第1回蕨市いじめ問題対策連絡協議会
令和6年6月または7月頃実施予定

7 【閉会】 小山 晃弘